

入学式 式辞

色とりどりの花々が美しく咲き、木々の緑が目にも鮮やかな今日の佳き日、我孫子市教育委員会教育総務部長 飯田秀勝様、本校 PTA 会長 栗原周一郎様にご臨席いただき、第四十三回入学式を無事行えますことを、心より感謝申し上げます。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ただいま二百四十二名の皆さんは白山中学校の生徒となりました。今日は、在校生代表で三年生が教室で式に参加し、皆さんの門出と一緒に祝ってくれています。先輩たちは皆さんの入学を楽しみに待っていました。

保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。今日からお子様は白山中学校の生徒となります。心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生のみなさん、中学校に入ったなら何をやりたいかと思っっていますか。きっと様々な夢を持っていることでしょう。小学校は六年間でしたが、中学校は三年間で、長いようで短いものです。一生の中で自分づくりができる大切な時期ですので、様々なことにチャレンジして行って、仲間とともに磨きをかけて行ってほしいと思います。

白山中学校にはたくさんのお慢できるところ、白山プライドがあります。その一つに「生徒主体」があります。「生徒主体」とは、「自分たちで考えて行動すること」です。

昨年の「体育祭」では、実行委員が中心になって、コロナ対策を取りながらできる種目を徹底的に考え、応援団は制限がかかった中でどう応援合戦で表現するかを考えリードし、見事に生徒全員でやり切りました。委員会ごとに担当した係の仕事ぶりも完璧でした。最初からできたわけではなく、うまくいかないときがあっても、上級生が「行事ができることに感謝して、優しさを大切に、楽しく取り組もう」と明るく後輩をリードしてくれました。生徒会本部の人たちが下支えの仕事をしっかりやってくれた安心感も大きかったと思います。

このように、中学校では活動の幅が広がり、やりがいを感じるでしょう。責任も伴いますが、中学校時代に経験したことは一生の宝となります。本校の校歌には「一人の友も置きさらじ」という歌詞があります。周りの人への気遣いを忘れず、白山中プライド「生徒主体」の精神で失敗を恐れず取り組み、活躍することを願っています。

また、中学校では教科ごとに先生が変わり、部活動もあります。個性あふれる先生方と出会い、たくさんのご事を吸収して行ってください。「師との出会い」がよき学びにつながります。

結びに、保護者の皆様、本日よりお子様をお預かりします。今は変化が激しく、皆様にお願ひすることも多々あるかと存じます。お子様たちにとって、充実した三年間になるよう、職員一同、精一杯の支援をしてまいります。今後のご理解、ご協力をお願いいたします。

それでは、新入生の活躍を期待し、合わせてご来賓の皆様と保護者の皆様のご多幸を心から祈念し、式辞とさせていただきます。

令和3年4月8日

我孫子市立白山中学校 校長 佐藤知代